

高齢者・障害者虐待防止連絡協議会を開催

「虐待かもしれない…」と思ったら通報を！

高齢者・障がい者虐待の予防や早期発見、対応などを関係機関とともに協議する場として、9月29日(火)に高齢者・障害者虐待防止連絡協議会を開催しました。

この協議会は、関係機関の連携強化や情報交換を目的としており、介護・障がい福祉サービス事業所、保健所、警察、消防や病院関係者、民生児童委員などさまざまな分野の団体が参画しています。実際に虐待の通報があった場合は、この協議会に参画している団体による個別ケース会議を開催し、緊急性の判断や支援方針などについて検討・協議を行います。

高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法ではそれぞれ国や地方公共団体、施設従事者や使用者などに虐待防止のための責務を課すとともに、虐待が疑われる行為を発見した場合には市町村へ通報する義務が明記されています。虐待は、殴る・蹴るなどの身体的虐待のほか、不安をあおるなどの精神的な苦痛を与える行為や、財産の不当な侵奪、介護・世話の放棄・放任なども該当し、虐待しているまたはされているという意識がなくても、虐待と認定する場合があります。ご自身の周りで、「虐待かもしれない」と疑われる事案がありましたら、市またはささえあいセンター（地域包括支援センター）へ通報をお願いします。

☎高齢者支援係・社会福祉係Tel 54-2121 またはささえあいセンター（地域包括支援センター）Tel 54-3077



オアリパ未来通信 vol.1

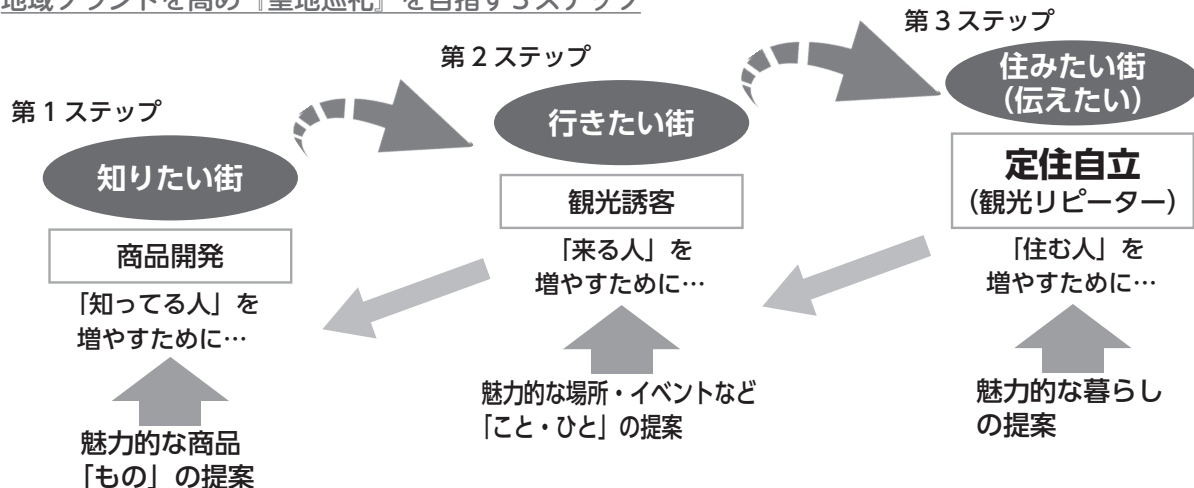
安心やすらぎ共和国 OASIS REPUBLIC -SUNAGAWA BASE-



◆地域の活性化を図るプロジェクト◆

市では、少子高齢化・人口減少の影響を緩やかなものにし、現在の経済状況を維持していくために、平成29・30年度に準備期間として地域の魅力を再発見するセミナーを行いました。また、令和元年度より、農業・商業・工業関係者などがひとつのチームとなって市の魅力を発信する「チーム“SUNAGAWA”ブランディングプロジェクト（砂川市地域ブランド構築事業）」を本格実施しています。

地域ブランドを高め『聖地巡礼』を目指す3ステップ



上記の3つのステップに沿ってプロジェクトを進めており、地域ブランドのファンを増やすことにより、「行ってみたい!」という『聖地巡礼』という現象が必ず起こります。

プロジェクトでは、① 聖地巡礼による観光客増加→② 人が集まる→③ 消費が増える→④ 地域が元気になる→⑤ 「もう1回行きたい!」というリピーターを獲得→⑥ 更なる地域の活性化を目指し取り組みを進めています。

今回は、「オアリパ」って何?」をご紹介します。

☎商工振興係Tel 54-2121